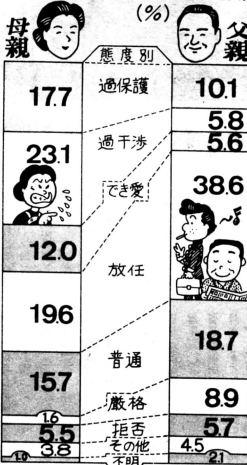


家庭内暴力の背景(1,025件)

両親の養育態度(昭和55年)



考えてみませんか

家庭のしつけからみた

校内暴力 家庭内暴力

の背景

- ①少年自身に忍耐心が欠けていること
 - ②家庭でのしつけがうまくいっていないこと
 - ③少年をとりまく社会環境が悪化していること
- これらのうち、②の家庭でのしつけについて焦点を当ててこの問題点を見てみましょう。

校内暴力

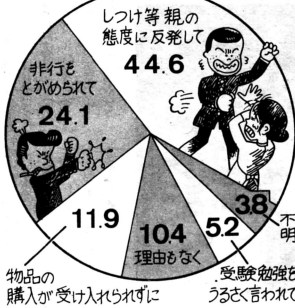
データ

昭和五十五年の校内暴力事件は全国で千五百五十五件発生。前年に比べ三百五十件、二九%増加。教師に対する暴力事件の九四%が中学校で発生している。

校内暴力で警察に捕縛された少年について、保護者がふだんどういうしつけをしているかをみますと、最も多いのが放任で約七割、次いで、でき愛が約一割となっています。このことから、親子の会話がなく、子供の好き勝手にさせていたり、また、親が子供を甘やかすすぎていること

家庭内暴力の原因・動機別状況

(昭和55年) (%)



家庭で、家族などに暴力を

家庭内暴力

データ

昭和五十五年の家庭内暴力事件は全国で千五十五件発生。男子が八八%と圧倒的に多い。また、中学生が全体の三五%を占めているのが目立つ。

一方、親の子供に対するしつけ、つまり養育態度で自立つのは、父親の場合が放任や過保護、母親は干渉のしすぎと過保護です。このような親の態度が、家庭内暴力の一つの原因になっていると言えます。

いった親の養育態度がどうかは、悪い行為にはそれ相応の罰を与えるという基本的なしつけが徹底しておらず、保護者自身もしつけの大切さを十分理解していない場合が多いです。

振るう少年は、学校の成績も比較的よく、家庭から一歩出る場合が多い。しかし、その性格は内向的で神経質なことが目立ちます。

このような少年が、家庭や社会にうまく適応できないで緊張や不安が高じ、いら立って暴力を振るう場合が多いようです。

心かけるなど、保管にも十分注意しましょう。

また、薬には要質しやすいためにもありますので、冷暗所に置くなど保存方法にも気を配りましょう。

さらに、乳幼児の手の届かないところに置いて、誤用による事故を防ぐように心がけるなど、保管にも十分注意しましょう。



薬と健康の週間
薬は両刃の剣
10月17日・23日

また、薬は両刃の剣といわれているように、適切に使わないと思わぬ副作用を起すことでもあります。

薬を使用するときは、薬剤師などの専門家とよく相談をすることも、薬に添付されている注意書きをよく読んで、正しく使うようにしましょう。

また、薬には要質しやすいためにもありますので、冷暗所に置くなど保存方法にも気を配りましょう。

さらに、乳幼児の手の届かないところに置いて、誤用による事故を防ぐように心がけるなど、保管にも十分注意しましょう。

薬は病的の診断、治療のためにはなくてはならないものですが、使用量、使用方法などをよく守り、正しい使方をするときは、十分な効果を得ることはできます。

また、薬は両刃の剣といわれているように、適切に使わないと思わぬ副作用を起すことでもあります。

薬を使用するときは、薬剤師などの専門家とよく相談をすることも、薬に添付されている注意書きをよく読んで、正しく使うようにしましょう。

また、薬には要質しやすいためにもありますので、冷暗所に置くなど保存方法にも気を配りましょう。

さらに、乳幼児の手の届かないところに置いて、誤用による事故を防ぐように心がけるなど、保管にも十分注意しましょう。

はだかで はだして 元気いっぱい



相内保育所

家族ぐるみの運動会

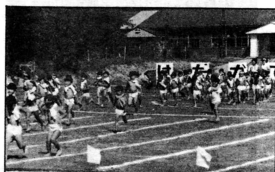
「はだかで はだして 元気いっぱい」をテーマにした相内保育所（高松隆一所長、児童数八十人）の運動会が、九月六日相内小学校グラウンドで開かれ、家族ぐるみの楽しい一日を過ごしました。

相内保育所では、「表情：他人のいたみを分ち合い、仲良く遊べる心豊かな子。健康：いのちの尊さを肌で感じ、たくましく、すくすく伸びる子。創造：自然の中で感動し自らの心を開き、常に創造し向上していく子」を実践目標にかかげていますが、「太陽」とみどりのあふれる健康保育にも力を注いでおり、運動会

は、その成長の一つの側面をたしかめるためのものであります。

この日は、はだかの入場行進には肌寒い日となったが、子供たちは日常の訓練でなんのその。はだかで元気よく入場行進したあと、はとポックリ体操、乾布まさつをして競技に備えました。

三浦由記雄ちゃん親子の炬



火入場のあと、高松所長が「花は大地から養分をすいあげ、四季折々に美しい姿にする。子供たちもまた、足の裏で大地をしっかりと踏みしめ保育のうみ養分をすいながら、心の中にきれいな花を咲かせよう成長していきます。保育所では、そうしたたくましく美しい姿をあわせ持った豊かな人間性をめざしている。まだつぼみのままの可愛い子、雑草のようなたくましい子など、いろとりどりであるが、みんなそれなりに鮮やかな花びらとくさきの中で豊かな表現のできる清く美しい花を咲かせよう」と一生懸命努力しています。

物ごと集中する心、最後までやりとげる力を育てるため

にも、どの子にも限らない大きな声援をおくってほしい」と運動会の目的と子供たちへの激励を呼びかけました。

このあと、趣向をこしたプログラムで競技が進行し、一生懸命走って、お母さんたちから涙を渡され、満足そうにニコリする子、等外だが完走して所長先生に頭をなでられ笑顔を見せる子供、それぞれ楽しさ、うれしさを体いっぱい表現していました。

フィナーレでは、心にあふるきとを「をテーマに、恒例の大力振りとながたの合同運行が行われ、応援席も一体となった家族ぐるみの運動会を楽しんでいました。

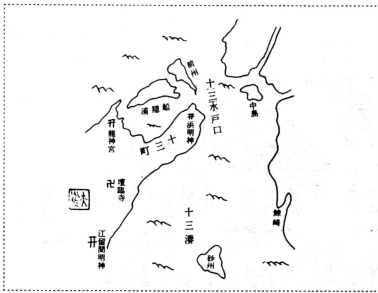


▶ 36 ◀

湊神社と本多水戸

奥多摩の神

湊神社と本多水戸
本多水戸といふのは十三
前海の南端に現在もその根



跡をありありと残している水戸のことです。二軒町からは古水戸と愛称しているところ。幕末の十三町奉行であった本多軍蔵といふ人が、湊神社の前身である浜の大明神に、この水戸口が成就すれば、必ず境内を拡張します。何とぞ私の願いを聞き届けて下さい」と、願掛けをして頼った水戸口ですから、その人の姓をとって名づけられたのです。

湊神社の拡張工事

本多水戸が町民の献身的な、必死な協力で完成し切腹の覚悟でした。見事に大船も容易に、安全に出入りすることが出来るほどの水戸口が完成しました。奉行はじめ町役人・町民が大喜びで、歓声を挙げ、神力に文せび泣いたことでした。文久三年（一八六三）三月十九日から浜の大明神の境内の拡張工事に着手し、四

湊神社と弁天様

現在のセバトの辺に昔弁天島という島がありました。弁天様がそこに祭られていました。ところが、興国二年の十三天津波で流失してしまいました。その弁天様（弁財天、弁若の神）を信

月二十一日に竣工しました。ところが、ふじぎにも境内の土中から目覚めるようあり、おびただしい出土品がありました。あたかも往古の浜の大明神の盛路を憶はせるようなものばかりという。人々は驚きのあまり直ちに藩に急便を立てて報告して見分を受けたということです。

出土品の数々

時期の関係で、その大体を次にお知らせしますと、
一、本像体式体、一、鑄仏十五体、一、鑄金付打出し式拾五体、一、打出し式三十九体、一、鑄金へ毛彫拾六体、一、打出し像（大徳）十五体、一、鑄金毛彫の七体、一、土台石拾六、一、船御光二枚、一、剣類の品五十位、一、鑄金へ打出し花彫拾巻、一、御厨子式通等々でした。これによって、浜の大明神の規模や荘厳さをひしひしと直観することが出来るでしょう。ほんとうに、唐船・京船・夷船の守護神であったことがわかります。

津波のことわざ

きの部

気が心、少しであつても人に尽したと思えば気がむむこと。人に物を贈る時など誠意の一端を知らずものといふ意。
見いで地獄、見いで地獄、話に聞くのと実際に見るのでは非常に相違があるといふ意。
不聞の横耳、耳が聞えないからと、悪口を言ったりすること、それが聞えたりすること。
木で鼻かむ、剣もほろろな反対のこと。
蜜食ば虫食え、葎には虫が多い。虫を覚悟で食べよ、といふ意。
氣の揚げたビール、形が残っているが本質が失われていること。
蛙の子ア蛙、おたまじやくしは蛙と似るようだが、後には親に違ふ。子はやっぱり親の道を進むものである。凡人の子はやはり凡人であるのとたとえ。
蛙の面サ水、蛙は水をかかれても平氣。恥を知らぬ者に意見してもムダ。

役場の電話は
2111番です

おしらせ



ゆとりある老後を

郵便年金9月1日から新発売

最低12万円から最高72万円まで
加入できます

医学の進歩や食生活の改善等によって、日本人の平均寿命は著しく伸び、今では世界有数の長寿国になっています。

こうした長寿時代は喜ばしいことですが、反面ますます長くなる老後の生活費をどのように備えていくかが、大きな問題となっています。

お勤めの方なら定年、ご商売の方なら引退後、やってくる老後の生活を楽しく、ゆとりあるものとするかどうかは、その時点でどのような準備ができていたかによって決まります。

新しい郵便年金は、きつとあなたの豊かな老後生活の手助けとなることでしょう。

新郵便年金は二種類ありますが、内容は次のとおりです。

○終身年金

- ・年金のお受け取りは一生涯。
- ・基本年金額が毎年3%の複利で増え、さらに運用により発生した差益を原資として、土積みします。ある程度の物価上昇に対応できます。
- ・受取人の方が万一亡くなられても、保証期間「年金支払開始から15年(70歳支払開始の場合は10年)」内は遺族の方に支払を続けます。

○定期年金

- ・一定期間(5年または10年)に毎年同額の年金が支払われます。
- ・掛金が安いので、老後の短期生活設計に利用できます。

・最終支払日には、剰余配当金も一緒に支払われます。

プランに合わせてお選びください。

・ご加入になれる年齢
35歳～67歳

・掛金の払込期間
3年以上20年以内(ご加入から年金受取開始まで)

・年金受取開始年齢
55・60・65・70歳

・ご加入できる年金額
初年度基本年金額12万円～72万円の範囲内で1万円きざみ。

・掛金の払込方法
年掛と月掛の二通り(年掛掛金は月掛掛金の11倍です)

※なお、詳しくはお近くの郵便局でおたずねください。

洗磯崎神社300年祭 特別協賛を!!

洗磯崎神社は、天和3年協元の産土神として鎮座以来、来る昭和58年には草創300年を迎えることになります。

そのため、地区在住有志により洗磯崎神社300年祭協賛会(笹山七三郎会長)を設立し、鎮座300年を記念する祭典挙行にむけて準備を進めており、地区外、村外在住のみなさんにも特別協賛を得て、盛大な祭典を計画しています。古里の祭典挙行のため、各位の協賛を呼びかけています。

■連絡先 市浦村大字協元
洗磯崎神社 300年祭協賛会事務局
(電話 017362 2216番)

加入して

いますか



青森県出稼協会では、県内に居住する出稼労働者が安心して働けるように、必要な援助等の措置を講じ、出稼労働者及び留守家族の福祉の向上に資するため、昭和54年から出稼労働者事故見舞金制度を設けています。

これは、出稼きをする方が加入して掛金を出し合い、不幸にして出稼中事故があった時、お互いに助け合うためのものです。これに加入すると、いつ、どこで災害があっても見舞金を受けられるようになっています。

▶加入申込み 市浦村役場(協元十三出張所)

▶掛金 1人年間600円(県と村がこのほか1人年間800円負担しています)

※くわしいことは、役場企画室へお問い合わせください。

役場の勤務時間が かわります

役場の勤務時間が次のようになります。

期 間 10月1日から翌年3月31日まで

平 日

8:15 8:30 正午 13:00

休息時間 休息時間

16:30 16:45

休息時間 土曜日

8:15 8:30 正午

休息時間

休息時間

休息時間

休息時間

休息時間

休息時間

休息時間

休息時間

休息時間

休息時間

休息時間

休息時間

休息時間

休息時間

休息時間

休息時間

休息時間

休息時間

休息時間

休息時間

休息時間



行政相談委員会
白川行雄

気軽に
ご相談ください

この週刊中も行政相談に応じますので、お気軽にお申し出下さい。

自宅住所
市浦村大字相内字相内六番地の一号
電話番号 二七八八番

行政管理庁では、行政相談制度について広く皆様方のご理解と認識を深めていただくため、全国一斉に十月十一日から十七日までを「行政相談週間」と定め、この間いろいろの行事を実施いたします。皆様方が常日ごらいただいております役所の仕事に関して、お困りになっていること、納得のいかないこと、希望したいことなどについて、「無料」で「迅速」にしかも「秘密」を守り、親身に相談に応じます。

社教

シリーズ

生涯教育をわらわて

派遣社教専事 片山 永繁

義務教育終了後から成人として自立するまでの青年期にある若者は、家庭ばかりでなく、教師・親・友人・その他社会全般の影響を強く受けて、また数々の成功や失敗、幸福や不幸の体験を積み重ねながら、次第に自己を確立し、その能力や個性に基づいて自立行動するようになる。

昭和五十四年に実施した市浦在任の青年に対するアンケートによると、人生観について、「自分の趣味に合ったくらしがしたい」「友人や仲間間という時生きがいを感じ、余暇時間は「テレビやラジオ、もっぱら休けい」というのが圧倒的に多かった。そしてやたら「権利」は主張するが、自分の果たすべき

義務や責任については一言も出てこない。また、「親に心配をかけたくない」と口では言うが、日常生活の中で、親が無関心なのかどうか定かでないが、周囲からみると、親が心配しそうな事が実に多い。結婚し親になれば、成人として社会人としての自覚が出てくるだろうが、現状では、若者に対する頼りなさを感じ

ているのが、年寄りばかりでなく、若い女性にも数多くいるのは事実である。社会教育審議会が答申した「青少年の徳性と社会教育」も、日本人としての自覚をもた、アンケートによる回答のような視野の狭い人間でなく、生きがいを求めて主体的に行動できるようになることを望んでいる。

各地区における青年団体でも、青年の使命を十分自覚し実践するための活動を推進すると同時に、それを支えてやる側の大人たちの積極的姿勢も最も必要な時期であると思う。

子供には、物の大切さを教えることも、欲しがってもすぐには与えない、欲しがってもいない物を与えたらこころしい配慮も時には必要である。また、なくしてもすぐによじ品物を手に入れられることが、物を集める原因とも考えられる。与えらるる物にも、代わりがない、他の物で代用できないもの（たとえば親の手づくりの品）を与えるときに、物の大切さを理解させるのも一つの方法です。



いまの子供は、昔の子供と違って鉛筆や消しゴムをなくしても平気、とくに低学年の子供はその傾向が強いようです。これは、ある小学校の先生の言葉です。

たしかに、いま子供たちには、「もつたない」という気持ちも欠けている一面もあるようです。持ち物を最後まで使わずに、捨てるというが、新しい物に替わらがりす。

よくに学用品など、学校で使ってもたつたについては、なくしてもまた買ってもらえるせいか、大切に使うという気持ちが薄いようです。これがエスカレートして、

「物」を大切にすること、

「物」を大切にすること、



- お誕生
- 成田 義行 (相内)
 - 長谷川 律子 (鯉ヶ沢)
 - 三浦 光義 (相内)
 - 守谷ひろ子 (東京)
 - 小山内幸男 (北三)
 - 小林利志子 (北海道)
 - 三和 真 (相内)
 - 梶原 典子 (熊本)
 - 相川 茂 (熊本)
 - 相馬とさき (平賀)
 - 石澤 俊逸 (脇元)
 - 花岡 幸二 (颯ヶ岡)
 - 清水 幸三 (颯ヶ岡)
 - 成田 綾子 (脇元)
 - 山田 一彦 (中里)
 - 荒岡 尚子 (中里)
 - 米谷 和喜 (相内)
 - 小田桐正子 (五所川原)
 - 小川 忠勝 (五所川原)
 - 柏谷 孝子 (相内)
 - 三和 悦穂 (相内)
 - 木村ゆかり (中里)

- 今
- 裕悦 (相内) 一男
 - 内藤 隆 (十三) 國光
 - 高橋 美緒 (十三) 義英
 - 葛西宏一郎 (脇元) 哲也
 - 本庄 裕美 (十三) 清則
 - 木村 清夏 (太田) 良一
 - 相川 品 (十三) 久
 - 岡本 聖子 (磯松) 強
 - 三和 大藏 (相内) 省勝
 - 高杉 知道 (太田) 孝正
 - 濱田 英剛 (十三) 正光
 - 青山 瑠里 (脇元) 裕一
 - 秦 杏奈 (相内) 幸彦
 - 佐藤 舞子 (磯松) 光盛
 - 相川 幸志 (十三) 祐藏
 - 藤田 恵子 (磯松) 俊一

- おくやみ
- 竹谷 ノヨ (脇元) 81歳
 - 福島鐵三郎 (十三) 79歳
 - 青山 貞作 (太田) 88歳
 - 小倉貞三郎 (十三) 81歳
 - 葛西 鐵藏 (脇元) 79歳
 - 岡本 せせ (相内) 63歳
 - 小野 あね (磯松) 71歳
 - 安保 順三 (相内) 75歳